

【解答に含まれるキーワードの例】

A-1

- 地震によって生じる基本現象
 - ・ 地震動
 - ・ 地盤の変位
 - ・ 地盤の液状化
 - ・ 津波 など
- 微地形からみた臨海低地地盤の範疇
 - ・ おぼれ谷埋積地
 - ・ 潟湖跡地
 - ・ 三角州
 - ・ 砂丘, 砂浜
 - ・ 堤間低地
 - ・ 後背湿地
 - ・ せき止め沼沢地跡
 - ・ 旧河道
 - ・ 自然堤防
 - ・ 扇状地 など
- 地震によって生じる基本現象に対する微地形の挙動
 - ・ 地震動：沖積層全体が、微地形に関係なく振動する。一般的に、軟弱層が厚いほど、または地盤が軟弱であるほど、地震動が大きく増幅される。
 - ・ 地盤の変位：沖積層全体が微地形に関係なく変位する可能性があるが、海岸に近いほど被害は大きい。
 - ・ 地盤の液状化：地盤の液状化は、①地下水位が高く、②粒径の揃った、③締まりの緩い沖積層の砂地盤で発生しやすい。
旧水面の埋立地や盛土地／三角州／堤間低地／自然堤防や砂丘の周縁部など
 - ・ 津波：外洋に開いた臨海地帯は、微地形に関係なく津波被害を受けやすい。特に、おぼれ谷埋積地、せき止め沼沢地跡、堤間低地、後背湿地など、標高の低い地盤ほど、津波の遡上による浸水被害が大きい。
外洋に開いた U 字や V 字をした湾内の低地地盤では、被害が大きくなりやすい。

A-2 : 蛇行原（自然堤防帯）を構成する微地形として“自然堤防”を例示する.

○ 地形的特徴

- ・ 微高地
- ・ 高さ数 m
- ・ 平面形状（蛇行状）
- ・ 横断形状（河道側急傾斜で非対称） など

○ 構成地質の特徴

- ・ 比較的粗粒
- ・ 河道からの距離と粒度の関係
- ・ 細かな成層
- ・ 河川の上，中，下流と粒度の関係 など

○ 防災上／土木地質上／土地利用上の特徴および留意点

- ・ 冠水しにくい
 - ・ 漏水しやすい
 - ・ 比較的締まっている
 - ・ 排水性良好
 - ・ 下位地盤が軟弱である可能性がある
 - ・ 水田不可
 - ・ 集落や神社
 - ・ 畑，果樹園，林 など
- } 防災
- } 土木地質
- } 土地利用

B-1

○ 問 1

- ・ 男体山の溶岩
- ・ 溶岩流の流下
- ・ (南側の) 谷地形
- ・ 天然ダムによるせき止め など

○ 問 2

- ・ 成層構造をもつ細粒湖成堆積物 : 下部
- ・ 泥炭や未分解植物性堆積物 (腐植土層) : 上部
- ・ 粗粒な河川堆積物
- ・ 火山灰層や火山噴出物 など

○ 問 3

- ・ 地形の名称 : 溶岩円頂丘 / 溶岩ドーム
 - ・ 粘性の高い溶岩 (の噴出)
 - ・ (山頂が平らな) ドームの形成
 - ・ 単成火山
 - ・ 古い谷の溶岩噴出によるせき止め
 - ・ 凹地の形成 など
- } 形成過程
- } 湯ノ湖の成因

○ 問 4

- ・ 泥流堆積物あるいは岩屑流堆積物 : 主部
- ・ 分級度が悪い
- ・ 巨礫を含む角礫一亜鉛礫層
- ・ (河川成の) 粗粒堆積物 : 最上部

B-2 : 岩盤を劣化させる作用として“熱水変質作用”を例示する.

- 具体的な熱水変質作用の内容
 - ・ 熱水溶液と岩石, 鉱物との反応
 - ・ 温泉
 - ・ 鉱化作用
 - ・ 粘土鉱物
 - ・ 酸性, 中性, アルカリ性
 - ・ 割れ目沿い
 - ・ 自己変質
 - ・ 火成岩体の周辺 など
- 熱水変質作用を反映した地形
 - ・ 組織地形
 - ・ 差別剥離地形
 - ・ 差別侵食
 - ・ リニアメント
 - ・ 地すべり, 崩壊
 - ・ 谷, 鞍部
 - ・ 傾斜変換線 など

【採点の要素】

〔基本要素〕

記述全般をとおして、設問に的確に応える能力を評価する。したがって、例示したようなキーワードの羅列では、点数は得られない。

〔減点要素〕

- ・ 誤字や脱字
- ・ 指定文字数（800字）の超過
- ・ 原稿用紙のマス目の無視
- ・ 必要以上の解答や的外れの解答
- ・ 明らかな間違い
- ・ その他